

資料編

1. CCRC モニターツアーアンケート結果

ツアー開催日：2019年2月18、19日

対象人数：7名（うち4名が移住実践者の親）

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 年齢 | 30代：1、50代：2、70代：4 |
| 2. 性別 | 男：5、女：2 |
| 3. 現在暮らしている場所 | 名古屋：1、大阪：1、神奈川：3、高知市：2 |
| 5. 現在の仕事 | 会社員：3、自営業：1、無職：3 |
| 6. 現在の世帯人数 | 1名：2、2名：3、3名：2 |

=====
7. 今回のツアーを経験して、嶺北地域の印象や移住に対する意欲は変わったか？

印象 良くなった：7

移住意欲 高まった：2 少し高まった：2 普通：2 無記入：1

8. 地方への移住を阻害する要因は何ですか？

- ・民間企業の給与水準。首都圏から50代の技術と経験を持ったシニア世代が高知に再就職する場合の阻害要因の一つと思う。
- ・年齢的(72歳)に住む近くにかかりつけ医があるかどうか心配
- ・仕事、飲食、友人とのつきあい。こうしたものを重視すると、例えば嶺北地域などを考えると満たされないものとなる。
- ・年齢的(75歳)に阻害する要因はない。独身または子育て中の身であれば、生計、収入の差である。しかし意欲と夢、情熱があれば前向きに考えるところである。
- ・時間の使い方。地域の方々とうまくやれるか。
- ・住む場所と仕事探しをどうしていくか。
- ・高齢のため行動範囲が制限される。

9. 今回のツアーを経験して、地方の暮らしで新たな発見や意外だったこと。

- ・嶺北地域の風景、景観の素晴らしさを知った。
- ・若いファミリーの移住者が多いこと、田舎暮らしネットワークのサポートや移住者間のコミュニティ、ネットワークの賜物か。
- ・山に囲まれていながらも家々があちこちに有り、移住者も多く、近くの方々と仲良く暮らしている様子が伺えました。

- ・食の豊富さと旨さ。自然の中で生きることの気持ち良さ。4年高知市に住んで満足と感じていたが、たまには嶺北あたりに来るのは休息になる。
- ・移住事業を企画した土佐町と本山町は公で協力し推進しているだけあって、すべての面で魅力を感じた。吉野川の溪流、山間地の棚田。事情の許すものであれば移住には最高の地域だと思う。
- ・空き家が増えているイメージだったが、実際には移住希望者の増加で住む場所の確保が大変かもしれない。
- ・自然豊かな環境が予想以上の美しさで感動しました。
- ・移住者と地元の人たちとのコミュニケーションが良く感じられた。
- ・景色が大変良い。色々と考える要素が含まれているためすぐに答えが出ない。

10. 嶺北地域の魅力はどんなところにあると感じましたか？

- ・豊かな自然、高知県下の他地域と比べても棚田の規模やきれいな川は極まっています。
- ・自然。
- ・四季の変化が感じられるところ。
- ・都会化してない。
- ・ゆっくり暮らせる。
- ・自然、食、人情。今回のツアーではやはり自然と食の良さを感じたが、印象としては人情深い土地であるに違いない。それを短期ツアーでどう見せるかが今後の課題。
- ・溪流での釣り、山間地にあっては春夏秋冬に適した農作業である。
- ・自然と優しさ。
- ・豊かな自然、キレイな川と水、移住者同士、地元の方々との交流の深さ。
- ・空気がきれい。水もきれい。静かである。

11. あなたが地方に移住するとしたら、何が一番心配ですか？

- ・家族と別れること。
- ・移住先での住居の確保。
- ・新たなコミュニティづくり。（特に妻）
- ・季候風土。
- ・病気になった時に頼れる人がいるかどうか。
- ・好きな仕事につけるかどうか。
- ・地元の方と仲良くやれるかが一番心配です。
- ・住む家と仕事探し。
- ・日常食事のまかない。

12. あなたが地方に移住するとしたら、そこでは一番何をしてみたいと思いますか？

- ・都会での生活でできなかったことの実現
- ・都会での会社生活で犠牲にしていた妻と過ごす時間を大切にしたい。
- ・ゆっくり暮らしたい。時々地域の行事に参加して楽しみたい。
- ・体を動かして楽しむこと。ウォーキングなど。
- ・田舎ならではの味わうこと。体験すること。
- ・何かボランティアしてみたい。
- ・古民家で暮らす。
- ・現地の魅力を全国に発信していきたい。
- ・おぼつかない。

13. (自由記入) 今回のツアーに参加して感じたことを記入ください。

- ・嶺北に移住された若い世代の皆さんの生活に対する目標や価値観がしっかりしていることに感動しました。
- ・すでに移住している人がたくさんいたこと。その人たちは優しさをもってまわりに接していると感じました。
- ・嶺北の魅力をとても感じることでできるメニューであった。観光への応用もできる。こんなプチ体験メニューを若い観光客さえ求めると思う。
- ・一次産業プチ体験、ジビエなどもあってよいのではないか。
- ・実際に現地を時間かけて案内していただき、自分一人の旅行で訪れるだけでは出会えない方々や場所を案内していただけたことが、とてもよかったです。
- ・広々とした土地でしぼりが無い。

2. CCRC 電話アンケート結果

アンケート実施期間：2017年2月

対象人数：11人

対象者の特性：嶺北への移住実践者の親

■**年齢** 55～59歳：1、60～64歳：3、65～69歳：1、70～74歳：6

■**性別** 男性：3、女性：8

■**住所** 東京：4、神奈川：3、埼玉：1、石川：1、千葉：1、大阪：1

■**今の仕事** 会社員：1、公務員：1、自営業：2、主婦・主夫：7

■**世帯人数** 1人：2、2人：7、5人：2

■**移住後の住居** 賃貸物件：5、自己所有：5、その他：1

■**移住後の仕事** 年金・貯蓄：8、フルタイム労働：1、パートタイム労働：1、未定：1

■**地域との関わり方** 深く関わりたい：2、必要な範囲で：8、よく分からない：1

■（移住するとして）移住の動機を教えてください。

- ・孫の近くに居たい。
- ・TVなどで見て、余生を自由に過ごせる。
- ・暖かいところで暮らしたい。
- ・自然の中でのんびり暮らしたい。
- ・都会にない自然がある。
- ・第二の人生を考えたい。
- ・自然の中で生活がしたいから。
- ・都会の喧騒がなくてしずか。空気良い。

■（移住しようと考えた場合）移住を阻害する原因を教えてください。

- ・田舎暮らしをしたことがない。
- ・病院の心配、持病がある。
- ・運転できない、夫は運転するが先には免許証を返すだろう。
- ・交通が不便。
- ・夫の母がおり、身の回りの世話をする必要がある。
- ・いま住んでいる場所に墓があり、墓守する必要がある。
- ・いまの暮らしに満足しているから。
- ・特に考えることがない。

- ・ひとりなので先のことが不安。
- ・見えない、わからない部分が多い。
- ・今の地域に昔からの友人が多い。
- ・自分の両親について考えさせられるから。
- ・体が思うように動かないため、田舎での日々の生活に支障がでる。
- ・今の暮らしに満足している。
- ・若いうちはよいが年取ったら生活が大変。
- ・今の人間関係を断ち切って他に行くことは考えられない。

■地方移住に関して、不安に感じることはありますか。

- ・お店もなし、何をして過ごせばいいか分からない？
- ・クルマの運転をしないので、交通不便。
- ・自分たちが、新しいコミュニティに慣れずに疎外感を持つかも。
- ・ある程度の便利が欲しい。
- ・医療、買い物など。
- ・移動の足が心配。
- ・年を取ってる。
- ・地域のコミュニティに溶け込めるか不安。
- ・交通の便。
- ・地域がわからないから。
- ・生活が成り立つのかどうか計画できない。
- ・交通手段がない。

■何があれば（支援、サービス、仕事など）、嶺北（本山町・土佐町）移住しますか。

- ・いまの暮らしに不自由がでたら。
- ・カラダがダメになったとか。
- ・医療、買い物、頼れる人の充実。
- ・住居が不便なく住みやすいこと。
- ・キッチン、バス、トイレが快適。
- ・頼りたくないのに、ひとり暮らしの外部サービスが充実してほしい。
- ・例えば、一日一回の見回りなど。
- ・クルマ社会だと思っているので、交通手段が充実してほしい。
- ・一人で出歩き、一人で生活できる環境
- ・仕事や住むところを紹介してもらえる。
- ・病院が近くにあるのか？

・住んでいる人は当たり前のような季節の暮らしの仕事(例えば夏は草刈り冬は雪対策等)

- ・生活に支障がなく収入が得られれば良い。
- ・住宅提供や家賃が安い等
- ・交通手段
- ・趣味のテニスやゴルフを自由に楽しめるか。
- ・個人の楽しみを充実させることができるか。
- ・精神的な充実や生きがいを持って暮らせるかどうか。
- ・地元の人たちとの交流や人間関係が不安。
- ・人と顔を合わせられる機会がどれだけあるか。

■何かお気づきの点がありましたら、お知らせください。

- ・子供が小さいときはいいが、高校生くらいになるとどうなのかな。
- ・移住のことをテレビや雑誌などでみるがそれは上手くいった話で、本当かなーと思う。
- ・カラダが動くときはいいが、動かなくなってサポートが十分かがポイントになる。
- ・移住はひとりになったら考えるかも。
- ・趣味のテニスができるところだといい。
- ・四国はほとんど知らない。
- ・いまの場所をご近所付き合いで挨拶はするがお付き合いは素、田舎で密な付き合いに入れるか不安。
- ・人の役に立ちたいから助けられてばかりの環境はイヤ。
- ・自分を必要としてくれる場所がいい。
- ・その地域のことがクリアに分かるようにしてほしい。
- ・嶺北はスーパーがあり思った以上に不便ではない。
- ・近所の方に親しみが持てる。

3. CCRC アンケート結果（高知県人会）

アンケート実施期間：2017年2～3月

対象人数：37人

対象者の特性：高知県人会 東京嶺北会会員（嶺北地域出身者）

■**年齢** 30歳～87歳

■**性別** 男性24 女性13

■**現在のお住まい** 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、

■**今までに嶺北へのUターンを含む地方への移住を考えたことがありますか？**

- ・ある7
- ・ない27
- ・無回答3

■（「ある」と答えた方）いつ頃、どのようなきっかけで、どちらへの移住を検討したか。また、移住されなかった方の理由をお聞かせ下さい。

- ・妻が土佐町の出身で、子供が小さいころ（40年前）よく行きましたが、仕事を最優先しました。
- ・農業が好きで、鶏を飼いたいと考えました。しかし、過疎化が進み、交通も不便になり、小中学校が統合され、長生きするには便利がいいところが適していると考えました。
- ・湯沢は冬の寒さと買い物が不便。そして女性の独身率が気になります。
- ・神奈川県伊豆島は暖かいので良いと思っています。
- ・年を取りすぎたため、少し考えてしまう。
- ・仲間がいる。
- ・大豊町に近いため。
- ・安芸群安田町にて、年間60日ほど過ごしています。2～3ヶ月ごとに往来しています。
- ・高知県大学の教員の誘いがあり、検討しましたが、家族の同意にいたらず。
- ・仕事の転勤もなく、定年を迎え、子供たちも関東の会社に就職したため。
- ・10年ほど前から、高知に対する思いが強くなってきたため、大豊町立川にて別荘を購入。

■今暮らしている地域の良さは何ですか？

- ・都会でありながら、田んぼや畑、川があり、自然も楽しめる。
- ・ボランティアに参加できて、環境がいい。
- ・環境の良さ、交通の便利さ。災害・防犯活動に街が盛んに取り組んでいる。
- ・交通機関の便利さ。コンビニが充実している。
- ・スーパーや銀行、薬局や飲食店、医療機関、図書館、交番などすべてが充実している。
- ・生活に便利なこと。友人や知人も多く、趣味で活躍できる機会が多いこと。
- ・交通の便利さ。静かなこと。
- ・交通の利便性。
- ・買い物に便利。また医療機関や交通機関が充実しており、快適に生活ができる。
- ・災害が少ない。静か。
- ・便利。
- ・欲しいものをすぐ購入することができる。
- ・東京の田舎ですが不便しないところ。
- ・ふるさとなので愛着がある。
- ・海、川、山、空気がきれい。
- ・病院、交通を含めた、公共施設が整っている。
- ・大型ショッピングモールがある。生活がしやすい。
- ・環境がとてもよく、住みやすいところ。
- ・便利さと地域の仲間
- ・交通、情報の便利さ。人の交流が多いこと。
- ・仕事がある。
- ・首都に近い。生活環境が整備されていて、かつ年中無休の24時間利用可能な病院がある。
- ・都会の中でも自然が多いため。
- ・病院・公共施設・文化施設へのアクセスがいい。住環境がいい。
- ・利便性。
- ・不自由なところがない。
- ・暖かく、人付き合いが心地いい。
- ・東京に近い、交通の利便性、多くの仲間がいる。食べ物が豊富。
- ・住みやすい。災害があまりない。
- ・自然が豊か。
- ・利便性。仕事がある。
- ・駅に近く、買い物が歩いてできる。

- ・便利なところ。

■今の地域での暮らしに将来的な不安はありませんか？

- ・木造火災が心配。
- ・家の耐震性。川の氾濫による浸水。
- ・ありますが、許容範囲です。
- ・家賃が高騰していること。
- ・地震。
- ・将来が不明瞭。
- ・地震。景観の保持。高齢化。

■どのような条件が揃えば嶺北へUターンを含め、地方へ移住しても（検討しても）良いと考えますか？

- ・家内が東京出身のためUターンの発想はありません。
- ・年齢が過ぎすぎたので、もう少し若かったら行きたかった。
- ・条件は特にありません。
- ・自分に合った仕事と、給料の額。
- ・28歳ごろから、親族も含めて高知市内に引っ越しており、つながりがあるところを離れるのは難しい。
- ・趣味を活かすことができる場所であれば。
- ・遅すぎたと思って諦めています。
- ・移住は検討していないが、四季ごとに10日くらい泊まりたい。
- ・仕事、若年化。
- ・買い物をする場所や医療機関、交通機関、そして老人介護施設が充実すればいいと思います。
- ・今のところは考えていません。
- ・住むところと仕事があれば。
- ・考えられません。
- ・土佐町内で、のんびり住める小さな家。
- ・収入源があること。
- ・子供が近いところに住んでいるため、Uターンは考えていない。
- ・考えていない。
- ・仕事の内容と住宅条件の都合がつけば。
- ・仕事があれば。
- ・現在の所にはお墓があり、子供達も仕事があるので、移住はないと思います。

・病院・公共施設・文化施設へのアクセスに不自由がなく、老後に心配がなければいいと思います。

- ・住居・上下水道の完全設備、仕事、交通の利便性。
- ・もう少し若ければと思います。
- ・若ければ検討していたかもしれません。
- ・利便性。
- ・買い物が歩いてできる。病院が近くにあること。
- ・仕事が成り立つかどうか。（別荘地として通うのも有りだと思います）
- ・家族と一緒に暮らしてくれるなら。暮らせるだけの収入源の確保。

■嶺北の「良いところ」を教えてください。

- ・自然が豊か。
- ・景色がいい。
- ・吉野川の清流が魅力だが、ダムがあるのが残念。
- ・自然に囲まれた環境。
- ・空気、空、吉野川、絵葉書の中に住んでいるよう。
- ・自然が多い。公共の場が充実している。
- ・懐かしさを感じる。
- ・豊かな自然。
- ・里山、吉野川。
- ・空気がいい、仕事がいい、自然が良い。
- ・全てがいい。
- ・自然が多い。
- ・自分の故郷ですので、すべてが好きです。
- ・水がきれい。夏涼しい。
- ・山、川があり、老人が暮らすには良いところ。
- ・水と空気がいい。
- ・懐かしさを感じる。
- ・時間の流れがゆるやか。
- ・自然が豊か。人情があついところ。
- ・人情と自然。
- ・自然と人情が豊か。
- ・空気と水。
- ・自然なところ。友達が多いこと。
- ・知人が多く心強い。

・自然が多い。生活に必要なものが揃っていて、足りないものは市内で買えるところ。

・立川御殿など、歴史ある地域で、文化を感じることができるところ。

■嶺北地域について「これから良くしたいところ」をお聞かせください。

・ふるさと納税を利用しています。名産品を生み出してほしいです。

・自然が豊かで、特に『ゆず』が素晴らしいので、もっと特産品として力を入れてほしい。

・四つの公園の桜が老木になっている。若木を植えてほしい。

・50年ほど嶺北にいていないので、わかりません。

・肉や生姜、農産物の活性化、杉林を自然林へと移行。自然木の活用。獣害の対策。

・（年中狩猟ができるように）とジビエの活用。自然を楽しむレジャーの充実。

・もうすこし交通の便がよくなれば。

・若者が帰ったところで、活かす場所がないのではないか？

・子育て環境と仕事をもっと充実させたい。

・経済的に安定して暮らしができる条件を整えること。観光面を充実させる。

・若い世代が安心できるような、産業の育成。

・山林の復興（杉・松から雑木へ）産業が集まらないと人は集まらない。

・病院、公共施設、文化施設の充実。

・交通の利便性。

・林業が活性化すればいいと思います。

・頑固な人が多いと感じるので、新人を受け入れる寛容な心が必要。

・川の水量を以前のように戻したい。

・大杉駅からの交通手段が心細い。

・人の流れを大きくすれば、土地柄を活かせるのでは？と思います。移住にこだわらず、別荘地での発展を。